

緑友会だより

新年のごあいさつ

緑園南緑友会 会長 根本 暉

明けましておめでとうございます。今年も皆様の健康やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。



平素は、緑友会の各種活動に深いご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

年の初めに当たり、昨年実施しました南北緑友会の活動を振り返り、主なものを簡潔書きにしてみました。

- ① 定例会 (毎月第3日曜日、3、6、9、12月は誕生会、1月は新年会を併催)
- ② 研修会 (交通安全教室) 3月、介護保険
- ③ さわやかグリーン運動 (毎月末)
- ④ 緑園青少年居場所作り (毎月第4土曜日、交流センター)
- ⑤ バス旅行 (1月 成田山初詣、3月 久能山・いちご狩り、6月 沼田のさくらんぼ狩りと赤堀花しょうぶ園、6月 区老連「ふれあい旅行」阿賀野川ライン下り、伊佐須見神社花菖蒲、8月 ぶじみのり、ぶどう狩りと甲斐善光寺、12月 伊豆三天紅葉めぐりと箱根の紅葉)
- ⑥ 地域交流 (3月 シルバーウォーキング大池公園、4月 区老連「ふれあいウォーキング」大池公園、5月 「ナツメロギター弾き語り」交流センター、6月 緑園地域ふれあいフェスティバル・交流センター、10月 「ふれ愛メッセ2009」緑園西小学校、11月 「花の生活館」のプラントの花植え替え作業)

主な活動内容は以上の通りですが、昨年は緑友会にとって特記すべき出来事が二件ありました。一つは、念願の機関紙「緑友会だより」が5月に創刊されました。これから毎年2回程度を目途に発行し、会員の皆様のコミュニケーションの場として活用して頂きたいと思っております。

もう一件は、『さわやかグリーン運動』の活動に対して神奈川県知事から表彰を受けたことです。11月2日、横浜市開港記念会館にて、南北緑友会が【昭和63年の結成当時から、緑園の街の発展とともに積極的に活動範囲を拡大して街の美化に多大な貢献をし、地域住民から感謝されている】ことで、神奈川県美

発行 緑園南・北緑友会 根本 暉
 編集責任者 深山美江子
 大沼 敬章
 Tel 045-811-1880

表彰状



このたびは、緑友会の各種活動に深いご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

今年も老人クラブ結成以来の指針である「健康・友愛・奉仕」の精神を念頭に、様々な活動を通して、緑友会の更なる発展を期して参りたいと考えております。

あけましておめでとーんさいます。

緑園北緑友会 会長 深山美江子

新年にあたり昨年も皆様の指導・ご協力をいただきながら無事会長の職務を全うできましたこと心から感謝申し上げます。

今年はいよいよ一層会の拡充に努めたいと思っておりますので昨年以上の協力をお願いいたします。

拡充について二つの目標を立てました。一つは、先ず会員の増強。会員募集のチラシを、連合自治会に配布をお願いしたり、敬老会等の集まりに配布したりしておりますが、加入実績をみますと、会員の口こみが一番成功しております。是非とも皆様一人おひとりのご協力をお願いしたいと思います。

二つ目は、従来の「楽しむ会」に加え、生活に密着した講習会・勉強会の開催を増大したいこと。昨年は誕生会で花の生活館による「介護講習会」と、交通安全協会による「高齢者のための交通安全講習会」を開いていただきました。

これからの皆さんに得は勿論ですが、



化運動推進功労者表彰を受けました。この運動を支えて下さった多くの方々のご努力とご協力の賜と深く感謝申し上げます。引き続きお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

平成二十一年の活動アルバム

昨年は従来の誕生会・新年会・お花見・夏祭り・日帰りバス旅行等のお楽しみに加え、生活に密着する講習会・勉強会が取り入れられました。さらに社会への貢献では、さわやかグリーン運動に、「花の生活館」の花植え作業を追加し、ますます充実した会の運営が行われました。それらの活動を写真で振り返り、昨年参加出来なかった方も今年の「やる気」につなげていただければ幸いです。

① 定例会 (新年会・誕生会を含む)



② 研修会 (交通安全講習会)



③ さわやかグリーン運動 (クラブハウス・自治会館)



花の生活館」のプラントに花植え



④ 緑園青少年居場所作り



⑤ バス旅行



⑥ 地域交流



ナツメロギター弾き語り



メッセ (緑友会紹介) ふれあい祭り (焼きそば)



泉区高齢者カラオケ大会



インターネットに緑友会のホームページ開設

緑園都市コミュニティ協会(RCA)運営の「緑えんネット」に、緑友会のホームページが開設され、スケジュールなどのお知らせや、活動報告などを掲載しております。アクセス可能な方は「緑えんネット」で検索してアクセスしてください。なお、毎月定例会終了後に更新しております。

編集後記

昨年は政権交代するという劇的な変貌の年になり、本格的な新政治がスタートしようとしておりますが、経済面ではシニア族への恩恵はまだ先の心配です。自分の健康は自分で守り、お互いに心身共に健康で悔いのない楽しい人生を送りましょう。みなさんにお伝えしたいことやエッセイなどの投稿を期待しております。是非お寄せください。

<http://www.ryokuen-gr.jp>